

台湾の農村女性の エンパワーメントを支える ティン・ママビジネス

-おふくろの味で勝負-

台湾 行政院農業會議所農家支援課課長
シャオ・フォンジン

マイルハイ・カフェ(台湾)オーナー
リ・チェンペン



目次

- 現在の家政普及プログラム
- 「ティン・ママ マイルハイ・カフェ」の事例紹介
- 結論

現在の家政普及プログラム(I)

- 農村女性は、台湾の農業労働力を担う重要な人的資源
- 政府の支援を受け、農会は農村女性を組織して家政部を設立
- 2,304の家政部に会員49,214人が在籍
- 指導法:
 1. 主なコンセプトを決める
 2. 労働能力を高める
 3. 「ティン・ママ(農村の母)」を育て、農村手作り店プログラムを推進する



現在の家政普及プログラム(Ⅱ)

ティン・ママと農村手作り店の育成

- 農村女性のスキルと伝統的メニューを組み合わせ、健康的でお洒落な料理を開発する
- 150の「ティン・ママ」料理部会を通じ農村女性に1,472の雇用機会を創出、これまでに計3億3000万台湾ドルの収益を上げた



「ティン・ママ」料理の特徴

- 低脂肪で塩分・糖分が低く、繊維豊富で健康的な食事
- フードマイレージ(食品の輸送距離)が少ない
- 多様な特徴をもつ地元の食材
- 全国規模の食品見本市
- レジャー農業と協力し都会から観光客を誘致、パートタイムの雇用機会と副収入をもたらしている



「ティン・ママ マイルハイ・カフェ」の事例紹介

- 1983年、夫とともに義父の土地を相続
- 果物を栽培して卸売りしたが、採算がとれず
- 2001年、果樹園経営による収入は880,000-572,064 台湾ドル (28,387 – 18,454ドル)
- 2004年に「ティン・ママ」加入、職業訓練プログラムに参加して料理・経営の能力を高める。マイルハイ・カフェ経営に伴い、2006年には収入が1,774,630 台湾ドル (57,246ドル)に増加。2001年と比べ、ほぼ倍増した。



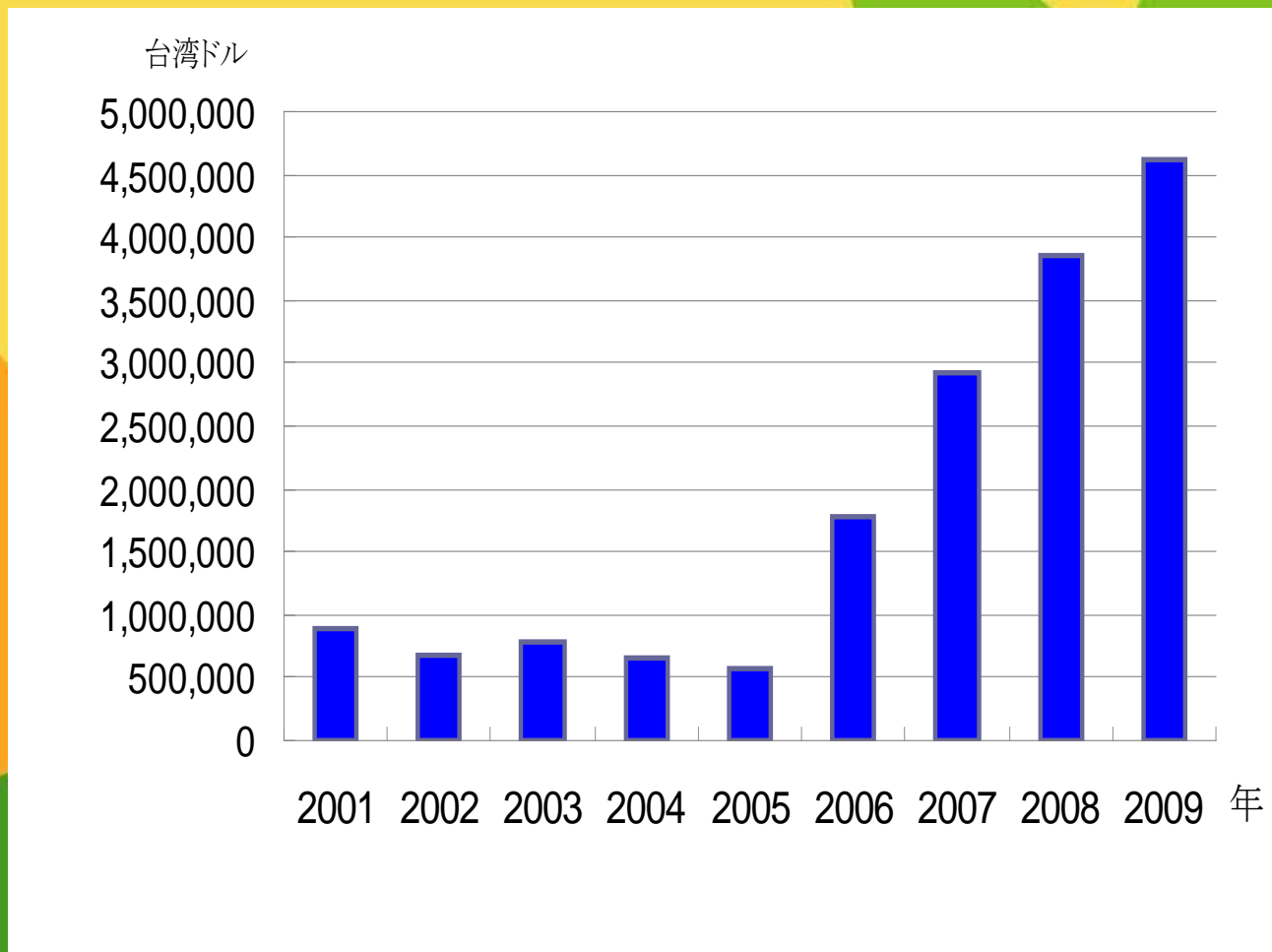
プラムジュース

アヒルの生姜鍋



ジンジャークッキー

「ティン・ママ マイルハイ・カフェ」の事例紹介



•新メニュー開発、質の高いサービス、地元の雇用機会創出に向け懸命に取り組んだ。

結論

- 二大プロジェクト -

- 農家の生活を向上させる
- 農村女性に雇用機会を創出し、パート収入を増やす



ご清聴
ありがとうございました

